

「紙ごみ」の減量化・資源化と「3R」の推進についての提言

平成22年11月2日

伊那市ごみ減量化・資源化推進委員会

22伊生第149号  
平成22年11月 2日

伊那市長 白鳥 孝 様

伊那市ごみ減量化・資源化推進委員会  
委員長 北原 文明

「紙ごみ」の減量化・資源化と「3R」の推進について(提言)

本委員会は、ごみの減量化・資源化のために行政その他関係機関がとるべき施策として、生ごみ、紙ごみ、3Rについて検討を進めてきました。昨年12月に、「生ごみの減量化・資源化」について提言をし、今回の提言については、紙ごみ・3Rについて検討を重ね、下記のとおり提言します。

これらはいずれも本委員会の総意に基づくものでありますので、速やかに、かつ適切に実施していただけるものと期待します。

記

- 1 「その他の紙」の排出誘導の推進
- 2 啓発活動の推進
- 3 リデュース (Reduce 発生抑制) の推進
- 4 リユース (Reuse 再利用) の推進
- 5 リサイクル (Recycle 再生利用) の推進

## 〔提言内容の説明〕

### 1 「その他の紙」の排出誘導の推進について

排出誘導のための意識付けが大切である。そのために「その他の紙」の出し方のチラシの回覧や市民ホールを活用しての展示、出し方についての工夫を募集する等、積極的に住民にPRされたい。

また、資源物ステーションの「その他の紙」を出す場所が分かりにくいので、資源物ステーションに目立つ看板（大きい看板）を作成し、衛生自治会の役員に誘導をお願いされたい。なお、「その他の紙」の専用袋の作成については、他市町村の状況を調査し、今後検討されたい。

### 2 啓発活動の推進について

(1) 「ごみ・資源物の出し方ビデオ」の地区、企業、学校等による活用や、どのようにリサイクルされているかの広報をされたい。

(2) 子供に教えていくことが大切なので、今後も継続されたい。

(子供エコツアーや副読本「地球にやさしいきれいな伊那市に」の配付の継続、保育園等への説明会)

(3) エキスパートの養成をし、地元の学校や保育園等の説明会に派遣されたい。

(ごみ仕分け人、分別マイスター等の制度をつくる)

### 3 リデュース (Reduce 発生抑制) の推進について

(1) レジ袋の削減、マイバックの持参の促進、簡易包装の推進のため、「事業者（販売店）、消費者及び行政がレジ袋の削減等について協議する場」を設ける働きかけを上伊那地方事務所環境課へされたい。

(2) マイはし等の利用の促進のため、懇親会がある会議等には「マイはし等の持参」を通知に入れて使用の呼びかけをされたい。

### 4 リユース (Reuse 再利用) の推進について

(1) 「みんなの生活展」でのフリーマーケットの開催と規模の拡大、民間レベルのフリーマーケットの開催について、場所の提供やチラシの配布等のバックアップをされたい。

(2) 保育園や学校単位での制服等のお下がり会の開催や、現在実施している譲渡会などに「お下がり」会を同時に開催することを検討されたい。

### 5 リサイクル (Recycle 再生利用) の推進について

(1) 布類は組成調査の結果では、約6%を占めている。回収方法やリサイクルの方法を研究し、衛生自治会と協議して可能な物から実施し、徐々に拡大されたい。

(2) シュレッダ処理された古紙類のリサイクルについては、収集時に混入してはいけないものや飛散防止等の問題点も研究し、衛生自治会と実施に向けて協議されたい。